



NX-50

パワースピーカー

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書

J



本機でできること

場所を選ばないデザイン

金属グリルを使った高級感あふれるデザインとコンパクトなサイズは、お使いになる場所を選ばず、さまざまなシーンにフィットします。



ラウドネスコントロール

小さな音量でも、豊かな低音感で音楽をお楽しみいただけます。

さまざまなコンテンツを高音質で再生

本機にパソコンやテレビなどの外部機器を接続することで、さまざまなコンテンツを高音質でお楽しみいただけます。



オートスタンバイ

本機への音声入力が一定時間ない場合、自動的にスタンバイになります。パワーオン・オフの操作を毎回行う必要がないため、無駄な電力消費を抑えます。




安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。お読みになったあとは、保証書と共に使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という禁止を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重症を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音がする。
● 煙が出る。
● 内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステープルで止めない。
● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。
● 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源電圧（100 V）で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を完全に主電源から切り離すためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。
● 浴室・台所・海岸・水辺
● 雨や雪、水がかかる場所
● 加湿器を過度にきかせた部屋
水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため、本機を設置する際には：
● 布やテーブルクロスをかけない。
● 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。（本機の周囲に左右5cm、上5cm、背面5cm以上のスペースを確保する。）
本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



禁止

あおむけや横倒しには設置しない。
故障やけがの原因となります。

使用上の注意



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損したりした場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
● 水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。
● 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。
火災や感電の原因になります。
修理および調整は販売店にご依頼ください。

お手入れ



必ず実行

電源プラグ、または電池ケースのゴミやほごりは、定期的に取り除く。
ほごりがたまったまま使用を続けると、プラグや金属部がショートして火災や感電の原因になります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほごりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



必ず実行

付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となる場合があります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となる場合があります。

設置



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。
外装の変形や、内部回路への悪影響が生じて、火災の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときは、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。



必ず実行

移動するときは、本機の電源コードを外す。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。汚れがひどいときは、水を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。
音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ブラウン管を使用したディスプレイの近くでご使用になり万色ムラや雑音などが生じるときは、本機とディスプレイの距離を離してご使用ください。

ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 必ず本機専用の AC アダプターをご使用ください。他の電源アダプターの使用による損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本機をつまみ類に無理な力を加えたり、キャビネットに重い物をのせないでください。
- テストディスクや電子楽器の信号、極端に歪んだ信号を大きな音で鳴らさないでください。スピーカーの破損の原因となります。
- パソコンのモニターやテレビの近くに設置すると、画像が歪むことがあります。そのような場合は、離してご使用ください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気媒体を近くに置かないでください。データが破損することがあります。
- 故障と思われるときはすぐに AC アダプターをコンセントから抜いてください。

目次

各部の名称と機能	1
接続	3
困ったときは	4
仕様	4

付属品の確認

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

- AC アダプター
- 3.5mm ステレオミニプラグケーブル (2.0m)

各部の名称と機能

前面パネル

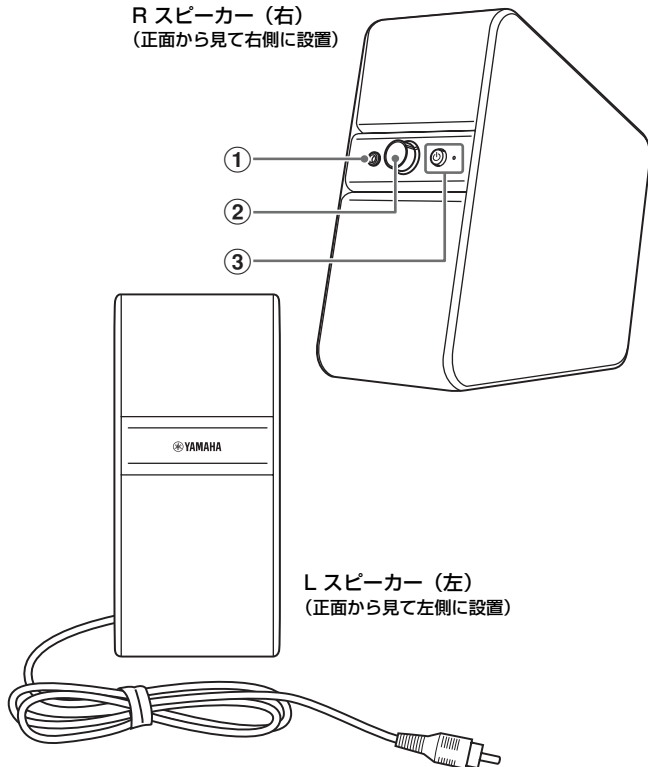
R スピーカー (右)
(正面から見て右側に設置)

①

②

③

L スピーカー (左)
(正面から見て左側に設置)



① ヘッドホン端子 (3.5 mm ステレオミニジャック)

ヘッドホンを使用するときに接続します。



ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーから音はでません。

ご注意

聴覚の保護のためにヘッドホンをご使用になるときは、音量にご注意ください。

- 大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になる場合があります。
- ヘッドホンを接続する前に、オーディオ機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。

② VOL (ボリューム) コントロール

左右のスピーカー及びヘッドホンの音量を調整します。
右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

ラウドネスコントロール

本機は小さな音量でも、豊かな低音感で音楽を楽しめるラウドネスコントロールを搭載しております。

スピーカーの出力レベルに連動して最適な聴感補正を自動的に行います。

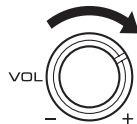
外部機器 (TV、パソコン、ポータブルプレーヤーなど) に接続して使うときは、出力される音声レベルを以下の方法で調節してお使いください。

- 外部機器に接続したら、本機の電源を入れて VOL (ボリューム) コントロールを時計の 2 時の位置 (右図) に合わせます。

- 接続した機器の音量調整 (ボリュームコントロールなど) を、音が割れたり歪まないように一番大きな音が出るよう調節します。

接続した機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- 本機のボリュームコントロールを回して、普段使う音量に調節してください。



③ (パワー) / インジケータ (LED)

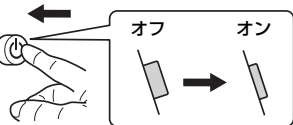
(パワー) を押すと、本機の電源が入り、インジケータが点灯します。
同時にオートスタンバイという機能が有効となります。

ご注意

本機の電源がオフまたは、スタンバイ状態でも、少量の電力を消費しています。

(パワー) を横から見ると…。 インジケータ (LED) 表示

	●: 消灯	○: 点灯
音声信号	(パワー) オフ	(パワー) オン
有り	●	○
無し	●	○ → ● おおよ 30 分後



オートスタンバイ

本機は、パワーオン状態のときに、接続した機器からの入力が無音声もしくはごく小音量で一定時間（おおよ 30 分程度）続いた場合、自動的にスタンバイ（省電力）モードに切り替わる機能を備えています。
この時、インジケータも消灯します。

スタンバイモード時に、接続中の機器を再生すると、本機は自動的に起動し、スピーカーより音声が出力されます。

(パワー) が押し戻されると、電源が切れます。

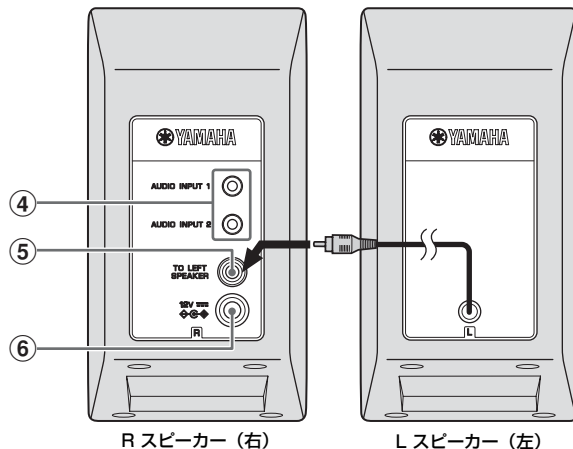
ご注意

- ・スタンバイモードになるまでの時間は目安です。使用状況により異なります。
- ・接続した機器の音量が小さいと、本機が起動しない場合があります。そのようなときは接続した機器の音量を上げてください。
- ・携帯電話など電波を発生する機器が近くにある場合は、通話や着信時のノイズによって本機が起動したり、スタンバイモードにならない場合があります。

ご使用中に本機がスタンバイモードに移行してしまう場合は、以下の手順で調整してお使いください。

- 1 接続した機器のボリュームを少し上げてください。
- 2 本機の VOL (ボリューム) コントロールで、最適な音量に調整してお楽しみください。

背面パネル



オーディオインプット

④ AUDIO INPUT 1/2 (入力端子)

付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを使用してポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続します。

トッ レフト スピーカー

⑤ TO LEFT SPEAKER

L スピーカー (左) から出ているケーブルをこの端子と接続します。

⑥ 12V (DC 12V)

必ず付属の AC アダプターを接続してください。

接続

- 電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。
- 外部機器についての詳細は、ご使用の機器の説明書をご覧ください。

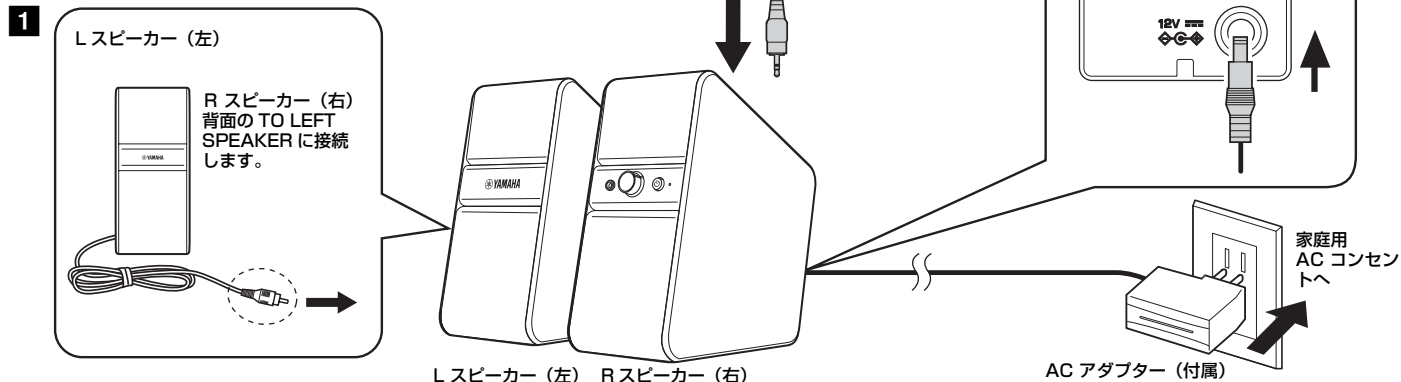
1 Lスピーカー（左）背面から出ているケーブルをRスピーカー（右）の **TO LEFT SPEAKER** へ接続します。

2 付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを、**AUDIO INPUT1**（入力端子）または、**AUDIO INPUT2**（入力端子）へ接続し、ポータブルプレーヤーやパソコンなどの外部機器と接続します。

3 付属の AC アダプターを DC 12V へ接続し、電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

🔊 おまかせミックス

AUDIO INPUT1/2 へ同時に音声を入力した場合には、内部で音声自動的にミックスされてスピーカー/ヘッドホンより出力されます。例えばTVのニュースを聞きながらポータブルプレーヤーの音楽をミックスして流すことも可能です。



困ったときは

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。
対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

症状	原因	処置
片方または両方から音がでない。または、音が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターがコンセントから抜けている。 ⚡ (パワー) が入っていない。 本機の接続が正しくされていない。 (または接触が不完全) 本機の音量が最小になっている。 接続した機器の音量が小さすぎる。 ヘッドホンが接続している。 (ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーから音はでません。) 	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターをしっかりとコンセントに差し込んでください。 ⚡ (パワー) を入れてください。 (インジケーターが点灯します。) 正しく接続されていることを確認してください。 VOL (ボリューム) コントロールを右に回して音量を上げてください。 接続した機器の音量を上げてください。 ヘッドホンを抜いてください。
音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号が大きすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続した機器の音量を下げてください。
ノイズがでる。	<ul style="list-style-type: none"> 接続が正しくされていない。 (または接触が不完全) 端子部分の接触が不良。 外部のノイズをひろってしまう。 電源ノイズをひろってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく接続されていることを確認してください。 ステレオミニジャックとステレオミニプラグケーブルが汚れていないか確認してください。汚れている場合は汚れを取ってください。 携帯電話や無線機器、電子レンジやインバーター式の照明機器などに近づけている場合は、離してみてください。 AC アダプターを壁のコンセントに直接差し込むなど、電源の取り口を換えてみてください。

* ⚡ (パワー) を切っても VOL (ボリューム) が最大になっていると、接続したヘッドホンから小さな音が聞こえることがあります。

仕様

入力端子

3.5mm ステレオミニジャック ×2 系統

ヘッドホン出力端子

3.5mm ステレオミニジャック ×1

電源電圧/周波数

AC100V、50/60Hz

最大出力

7W+7W (6Ω, 1 kHz, 10% THD)

消費電力

13W スピーカー本体

パワーオフ時の消費電力

0.5W 以下

AC アダプター

MU18-D120150-A1 (DC 12 V、1.5 A)

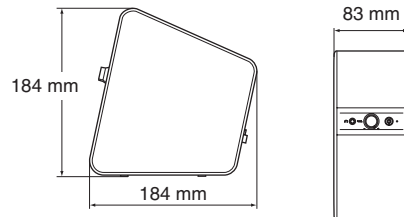
質量

右スピーカー：1.1kg

左スピーカー：0.9kg*

* ケーブル (2.0m) 含む

外形寸法



仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付:月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830受付:月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125
九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付:月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラクターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサルシティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

* 名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示されています。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、チューニングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチリレー、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

